

2026 年 1 月 7 日

SSW に関心のある SW の皆様

第 42 回 SSW に関心のある SW の情報交換会について（ご案内）

島根県社会福祉士会・島根県 MSW 協会・島根県精神保健福祉士会

お世話になっております。

過日、11 月 14 日、実践報告・事例検討・意見交換会を行いました。参加者は、6 名でした。

今回も、新規参加者が 2 名あり、いつも同様、活発な意見交換会となりました。日頃から県や自治体で SSW としてソーシャルワークを実践している方、SSW に関心のある方、それぞれから意見、報告、質問などを通して、今後どのように学校と接し、SSW を展開していくのかなどについて、それぞれの思いの交換をしました。

キーワードとしてあがった主なものとして…SC はこころを看る。SSW は環境を看て調整する。おんせんキャンパス@雲南市。DV などの問題が表出しても学校の管理職は「それは学校が関わるべきではない」と介入しないことがあるが、これは“学校あるある”の 1 つであり、子供の幸せ、安定した通学を考えれば当然介入すべきこと。一緒に悩み考えるスタンスが学校に、そして SSW に求められる。「困っていることないですか？」と訊くより、「気がかりなことないですか？」と訊くほうが、本音が出やすい。1 つ 1 つの質問が大切。知的障害など主体的に困りごとを表出しづらい人には観察から始める。発達障害児・者への関わりには家族支援が不可欠。…など、多岐にわたり意見交換をしました。

第 42 回の会合を以下の日程で行いますので、関心のある方はどうかご参加いただきますようご案内申し上げます。なお、SSW に関する公開できるデータ等の資料をお持ちの方はデータを送信してください。

参加可能な方は 1 月 30 日（金）までにメールにてご連絡をお願いします。情報交換会前日までに URL をメールにて送信致します。よろしくお願い致します。

記

日 時 2026 年 2 月 13 日（金）18：30～20：00（ZOOMのみご参加）

内 容 日本社会福祉士会全国大会および日本学校ソーシャルワーク学会報告と意見交換

報告者：島根県教育庁人権同和教育課 SSW・SV 松本 潤子さん

参加対象 ルール 社会福祉士、または精神保健福祉士の国家資格をお持ちの方、
①個人情報にかかる内容については会の外に漏らさないようにお願いします。
②他の参加者の方の意見を批判せず、お互いに受け止め合うようお願いいたします。
③積極的な発言をお願いします。（が、時間泥棒にならないように）
④政治や宗教はデリケートな話題ですので、ご遠慮ください。
申し込み先 氏名、勤務先、国家資格の名称と有無について、下記までメール送信下さい。

島根県社会福祉士会 事務局 宛て

Eメール：smnjacsw2@eos.ocn.ne.jp